

平成29年8月 教育委員会会議録(要旨)【8月7日(月)】

<p>〔開会の宣告〕 遠藤教育長</p>	<p>平成29年8月定例教育委員会会議を開会する。</p>
<p>〔会議の成立〕 遠藤教育長</p>	<p>本日は、私の他4人の委員が出席しているので、この会議は成立する。 会議録署名人は、森委員と私とする。</p>
<p>〔公開の審議〕 遠藤教育長 遠藤教育長 遠藤教育長</p>	<p>本日の会議日程について、議第47号及び48号については、「議会の議決を経るべき議案についての意見の申出に関する案件」に該当することから、会議規則第13条に基づき非公開の審議が適切と考えるが、意見を伺いたい。 特に意見も無いようなので採決する。議第47号及び48号について、非公開に賛成の委員は、挙手をお願いする。 (全員挙手) 全員賛成により、議第47号及び48号については、非公開とする。</p>
<p>日程第1 前回会議録承認</p>	
<p>遠藤教育長 遠藤教育長</p>	<p>7月7日開催の平成29年7月定例教育委員会会議録を承認することに異議があるか。 (異議なしの声) 異議なしと認め、前回会議録を承認する。</p>
<p>日程第2 事務局報告</p>	
<p>(1) 事業・行事等報告について 前回会議(H29.7.7)以降の事業・行事報告(主なもの) 7月11日(火) 第2回校長・園長会</p>	

平成29年8月 教育委員会会議録(要旨)【8月7日(月)】

14日(金)	平成29年度熊本市地区学校等警察連絡協議会全体会
16日(日)	九州自閉症協議会 第22回大会 in くまもと
27日(木)	熊本県学校給食研究協議大会
31日(月)	臨時教育委員会会議
8月 2日(木)	第48回熊本県公立小中学校教頭会研究大会
今後の予定(主なもの))	
10日(木)	平成29年度第1回熊本市総合教育会議
11日(金)	平成30年度熊本市立学校教員採用選考試験(2次試験) (~15日)
17日(木)	第50回九州地区高等学校商業教育研究大会
18日(金)	平成29年度 教育講演会
19日(土)	第44回全日本中学校陸上競技選手権大会
22日(火)	第3回校長・園長代表者会
23日(水)	第20回タウンミーティング
9月 1日(金)	始業式 熊本市PTA協議会一斉あいさつ運動
日程第3 議 事	
・議第46号 熊本市教育振興基本計画(平成28~31年度)実施計画(平成29年度版)の策定についてについて	
	《上村教育政策課長 提出理由説明》
遠藤教育長	本計画で、特に進捗が良好なものと、特に進んでいないものとして、何が挙げられるか。
上村課長	学校の空調設備については順調に進んでいる。また、震災後の子どもたちの心のケアを含め、国の補助を活用することにより、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置も進んでいる。さらに、市長の公約である学校教育コンシェルジュの設置により、教員の負担感が軽減できているように思う。 進んでいないものとしては、次期学習指導要領にも関係あるが、英語教育や情報化については、今後予算を獲得し進めていく必要があると考える。

<p>遠藤教育長</p>	<p>8月10日の総合教育会議でも進捗状況等について議論する予定であり、取り上げるべき項目についても整理しておくべきである。</p>
<p>小屋松委員</p>	<p>P31の「運動部活動の見直し」で、H28年度は指針の改定・通知を行い、今年度は各小学校で検討・協議となっているが、具体的にどのように行っていくのか。先生が部活動に関わる時間を減らして負担を軽くし、教員が子どもと向き合う時間を拡充するため、熊本市としては学内には総合運動部を設置し、その他については、社会体育化を維持するということでもいいのか。</p> <p>もう一つ、小中学校の学校支援ボランティアの数が増えないという件があげられていたが、私の校区ではこのことについて、学校からの文書等を見たことがないので、どのような方法で募集をかけているのか、具体的な実例等があれば、聞かせていただきたい。</p>
<p>森田健康教育課長</p>	<p>小学校の部活動について、平成31年度までに現行の部活動全てを社会体育に移行するという方針ではない。状況が許せば、社会体育に移行できる部もあるかと思うが、全ての部活動を社会体育に移行することは難しいと考えている。教員の負担軽減ということで掲げられているように、現行の部活動であっても、活動時間を短くする、活動日数を少なくする、さらには、出場できる大会を制限するというような方法で、部活動の時間を短くしたいと考えている。もちろん、社会体育に移行できる環境が整っている場合には、移行してもかまわないと考える。</p> <p>総合運動部は、色々な競技を季節ごとに行うもので、仮にある学校で既存の運動部活動全てが社会体育に移行し学校から離れてしまっても、子どもたちの体力向上やスポーツに親しみたいという気持ちを叶えるために、これまでの競技性の高いものから、バランス良く運動ができる機会として、原則各学校に設置してほしいとのお願いを行っている。</p> <p>また、各学校での検討状況については、現在各学校に応じた検討会を設置し、検討を始めてくださいとお願いしているところ。まだ、地域の方や体育協会、自治会も入って検討が進んでいる学校は現時点では少ない状況であるが、今後地域の方のご意見も踏まえながら、それぞれの学校においてこういった姿が望ましいのか、各学校の部活動の検討委員会を開催していただ</p>

<p>中村学務課長</p>	<p>きたいと考えている。</p> <p>学校支援ボランティアは、地域の人材を積極的に取り入れ、学校と地域が連携して子どもを育て、地域に開かれた学校を推進することを目的に、平成12年度から実施。毎年確実に活動人数は伸びている。平成28年度は前年度に比べて若干活動者数の減少が見られたが、地震の影響によるものと見ている。</p> <p>募集については、各学校がチラシ等によって、各校区にある各種団体を通じて地域の方々に呼びかけを行うなど、登録を進めている。学校によって登録者が少ないところも見られ、毎年学校の担当者のための初任者研修を実施し、ボランティアの推進に努めている。</p>
<p>森委員</p>	<p>部活動について、学校で協議をする過程で、子どもや保護者が、総合運動部で様々な運動を行うのには反対であり、好きな種目を今後も続けられるようにしてほしいという意見が強かった場合、原則総合運動部を設置するという取組はどうなるのか。</p>
<p>森田健康教育課長</p>	<p>総合運動部の設置について、「原則」という言葉を付けたのは、現行の単一競技を継続する学校もあると考えているためである。その場合に、それに加えて総合運動部をさらに設置すると、先生方の負担が大きくなることなどが考えられ、既存の部活動で、子どもや保護者の方々のご意見やご要望を汲み取ることができるならば、あえて総合運動部を設置する必要はないと考える。</p>
<p>森委員</p>	<p>資料P.8の目的にある「いじめ解消率」について質問。目標は100%であるが、数字よりも、何を持っていじめが解消したと見るか、いじめ解消の基準・考え方が問題と思う。文科省で、いじめが解消したことを判定するための考え方を示しているが、ここでいういじめの解消というのは、どういう状態を持っていじめの解消というのか説明をお願いします。</p>
<p>徳永総合支援課長</p>	<p>いじめに関わった加害者・被害者や関係した児童・生徒の事実関係を把握して、お互いに事実について納得した段階で、謝罪や反省等を行うが、それで終わりとはせず、今般改定された文科省のいじめ対策の基本方針でも、3ヶ月程度は引き続き子どもたちの様子を観察しながら、見守ることが大事であると述</p>

	<p>べられているように、本市でも、一度指導をしたからといって、それでいじめが解消されたとは捉えず、引き続き見守りながら、子どもたちの様子を継続して観察し、お互いに仲良く生活している様子が確認できた段階で、いじめが解消されたとして各学校から報告を受けている。</p>
<p>森委員</p>	<p>いじめが認知されて、調査し、指導を行い、指導後3ヶ月経過しても、いじめが再発していないということが確認された時点で、はじめていじめ解消と判定するという理解で良いか。</p>
<p>徳永総合支援課長</p>	<p>そうである。</p>
<p>出川委員</p>	<p>資料P.10で、教職員の授業力の向上のための研修等の計画は読み取れる。授業力の向上は大切であるが、教員の、いじめや不登校に対応する資質を向上させる研修等は本計画の中にあるのか。</p>
<p>徳永総合支援課長</p>	<p>いじめ・不登校に対応するための教員の資質向上に特化した研修等について、本計画に項目は挙がっていない。いじめや不登校の対応については、各学校で、「いじめ防止対策推進法」に基づく学校の基本方針の見直し、定期的な生徒指導関係やいじめ・不登校対策の委員会の開催、校内でのいじめ・不登校の事例を持ち寄った全職員での校内研修等を行っている。また、教育委員会主催の生徒指導主任主事会、いじめ・不登校関連の研修等に各学校から参加してもらい、持ち帰って各学校で全体に伝えてもらう研修を行う、ということを繰り返し行っているところである。</p>
<p>泉委員</p>	<p>資料P.31の教員が子どもと向き合う時間の拡充のところで、教員の多忙さを減らすことはとても大切であるが、教職員自身の仕事の効率化について、どのように検討されているか。</p>
<p>塩津指導課長</p>	<p>今年度から校務支援システムの導入を進めており、1月稼働予定。それに向けて、各業務の見直しを始めているところ。教育委員会各課で1本化、デジタル化できるもの、また、学校内で1本化できるものなどがある。例えば、通知表を3学期分作成する業務と、要録作成という業務があるが、この情報を1本化して両方の業務ができるように効率化する、また、学校で学</p>

平成29年8月 教育委員会会議録(要旨)【8月7日(月)】

<p>森委員</p> <p>上村教育政策課長</p> <p>森委員</p>	<p>籍簿を作成するが、それに関する情報を教育委員会からAネットというシステムで各学校に流し、各学校でその情報を元に学籍簿を作成するなど、様々な事務の省力化が可能である。各学校がそれらを活用することで、事務の合理化を図ってほしいと考えている。今後、再度このことについて、報告したいと考えている。</p> <p>3年前だったと思うが、モデル校で職員会議を減らすなど、教員の負担軽減の取り組みを行い、その成果を冊子にしたが、モデル校での取り組みが、他の学校にどう広がって、どう実践されているかが大事だと思う。現状はどうなっているか。</p> <p>平成28年3月に学校負担軽減の事例集を作成して、各学校に配布している。作成後、その事例集についての研修等を行っておらず、今後各学校に浸透するような周知等について、今後検討を行っていく。</p> <p>昨年は地震があったため、できなかったと思うが、せっかく負担軽減の事例があるので、それをどう浸透させるかが一番大事だと思う。</p> <p style="text-align: center;">〔採決〕 【原案どおり承認された】</p>
<p>・議第49号 熊本市放課後子ども総合プラン運営推進委員会委員の委嘱について</p>	<p style="text-align: center;">《上原青少年教育課長 提出理由説明》</p> <p style="text-align: center;">〔採決〕 【原案どおり承認された】</p>
<p>・議第50号 平成30年度熊本市立高等学校入学者選抜の基本方針の制定について</p>	<p style="text-align: center;">《塩津指導課長 提出理由説明》</p> <p style="text-align: center;">〔採決〕 【原案どおり承認された】</p>

<p>日程第4 報告</p>	
	<p>・報告(1) 平成30年度熊本市立学校教員採用選考試験の一次試験結果について</p> <p style="text-align: center;">《木櫛教職員課長 報告》</p>
	<p>・報告(2) 平成30年度管理職採用選考試験の志願状況について</p> <p style="text-align: center;">《木櫛教職員課長 報告》</p>
森委員	<p>幼稚園の園長試験について。これまでは教頭試験合格者が、園長に任命されていたが、今年度から園長試験を行うのは何故か。また、幼稚園の園長の受験資格はどのようなものか。</p>
木櫛教職員課長	<p>これまでは、園長に退職者が出れば、教頭選考試験の合格者を配置してきた。現在、市立幼稚園8園で、小学校の教頭からの園長を5人、幼稚園教諭である園長を3人配置している。幼稚園教諭である園長のうち2人が今年度退職となるため、来年度から幼稚園教諭である園長が1人となる。その園長もいずれ退職となるため、これまで培ってきた本市の幼稚園に関する管理運営の知見や継続性、幼児教育に係る研究の蓄積が損なわれることがないように、園長試験を実施するもの。</p> <p>受験資格については、小・中の教頭選考に準じ、満40歳以上で、教職経験10年以上に加え、熊本市立幼稚園または熊大附属幼稚園での勤務経験1年以上を受験資格としている。</p>
森委員	<p>では、幼稚園教育の経験のない方が園長に配置されることは、今後はないということでしょうか。</p>
木櫛教職員課長	<p>試験では基準点を設けており、基準点を満たす受験者がなく、合格者がいないということになれば、従来どおり教頭試験合格者から適任者を配置する可能性がある。</p>
森委員	<p>基準点を設けるに至った理由は何か。</p>
木櫛教職員課長	<p>園長は組織の長であり、本市が求める基準以上の資質は持つておく必要があるため。</p>

平成29年8月 教育委員会会議録(要旨)【8月7日(月)】

<p>・報告(3) <u>熊本市立高等学校における平成30年度使用予定教科用図書について</u></p>	<p>《塩津指導課長 報告》</p>
<p>・報告(4) <u>公益財団法人熊本市学校給食会の経営状況について</u></p>	<p>《森田健康教育課長 報告》</p>
<p>・報告(5) <u>広報広聴関係について</u></p> <p>遠藤教育長</p> <p>森田健康教育課長</p> <p>〔非公開の審議〕</p>	<p>《上村教育政策課長 報告》</p> <p>資料11-4の「防災頭巾」について検討するとあるが、現在は どうなっているか。</p> <p>熊本地震を踏まえ、その必要性について検討し、各学校で防 災頭巾を作成することとしていたが、その後民間企業から、寄 付の申し出があっているということで、防災頭巾に関する学校 への指導は保留しているところ。寄付の有無が確認できてから、 改めてどのように防災頭巾の作成等について学校に周知する か、再度検討する予定である。</p>
<p>日程第3 議 事</p>	
<p>・議第47号 <u>平成29年度熊本市一般会計8月補正予算(教育費)について</u></p>	<p>《上村教育政策課長 提出理由説明》</p> <p>〔採決〕 【原案どおり承認された】</p>
<p>・議第48号 <u>平成29年度熊本市一般会計8月補正予算(教育費)について</u></p>	<p>《上村教育政策課長 提出理由説明》</p> <p>〔採決〕 【原案どおり承認された】</p>

平成29年8月 教育委員会会議録(要旨)【8月7日(月)】

<p>〔閉会〕 遠藤教育長</p>	<p>本日の日程は全て終了したので、平成29年8月の定例教育委員会会議を閉会する。</p>
-----------------------	---